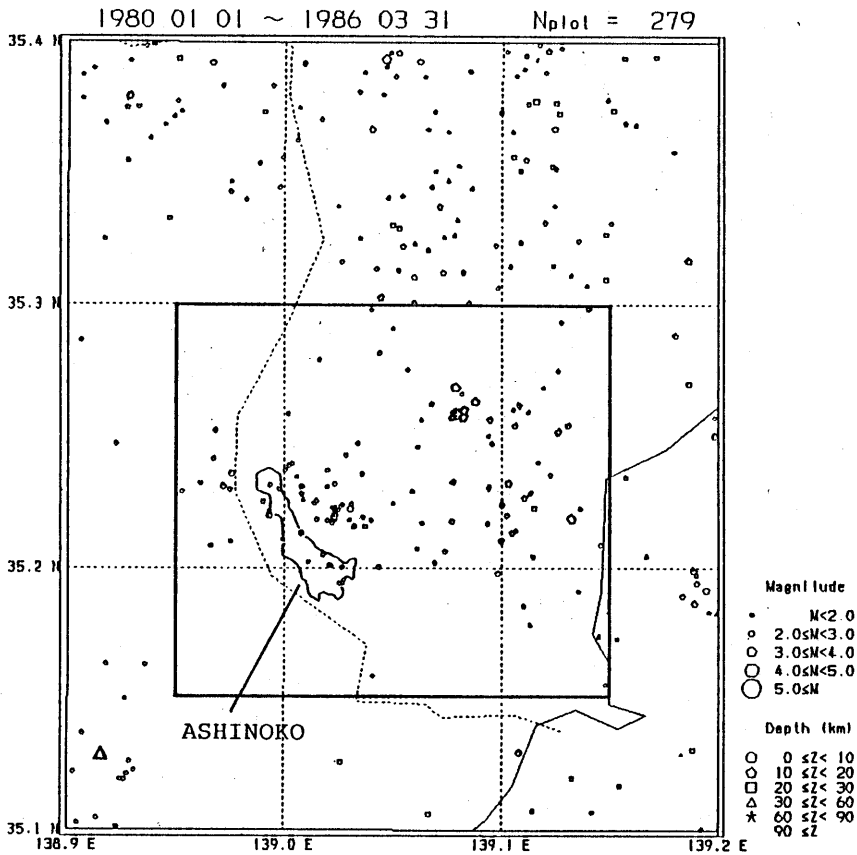


# 箱根火山の地震活動(1980年 1月~1986年3月)\*

国立防災科学技術センター

当センターの定常観測結果に基づいて、箱根火山とその周辺に発生した浅い地震(深さ0~50 km)の震央分布を第1図に示す。

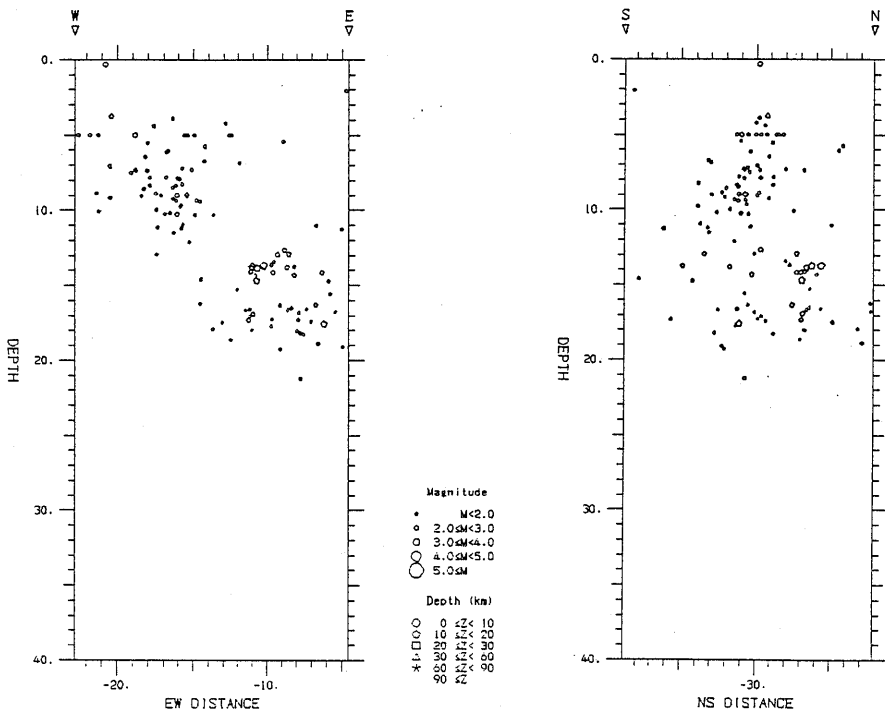


第1図 箱根火山とその周辺の震央分布(1980年1月~1986年3月, 深さ0~50 km)

Fig.1 Epicentral distribution of shallow earthquakes (depth: 0-50 km) in and around the Hakone Volcano area for the period from January, 1980 to March, 1986.

\* Received July 2, 1986

図中長方形で囲んだ領域は、箱根火山と密接に関連した地震が起こっていると考えられる区域である。この長方形領域内の地震について、東西および南北方向の震源分布断面図を第2図に示した。また、第3図は、これらの地震の深さを時間軸に対してプロットしたものである。



第2図 第1図長方形領域内の地震の東西(左), 南北(右)震源分布断面  
 Fig.2 Vertical section of hypocenter distribution on the east-west and north-south trending planes for the earthquakes occurring in the rectangular area of Fig. 1.

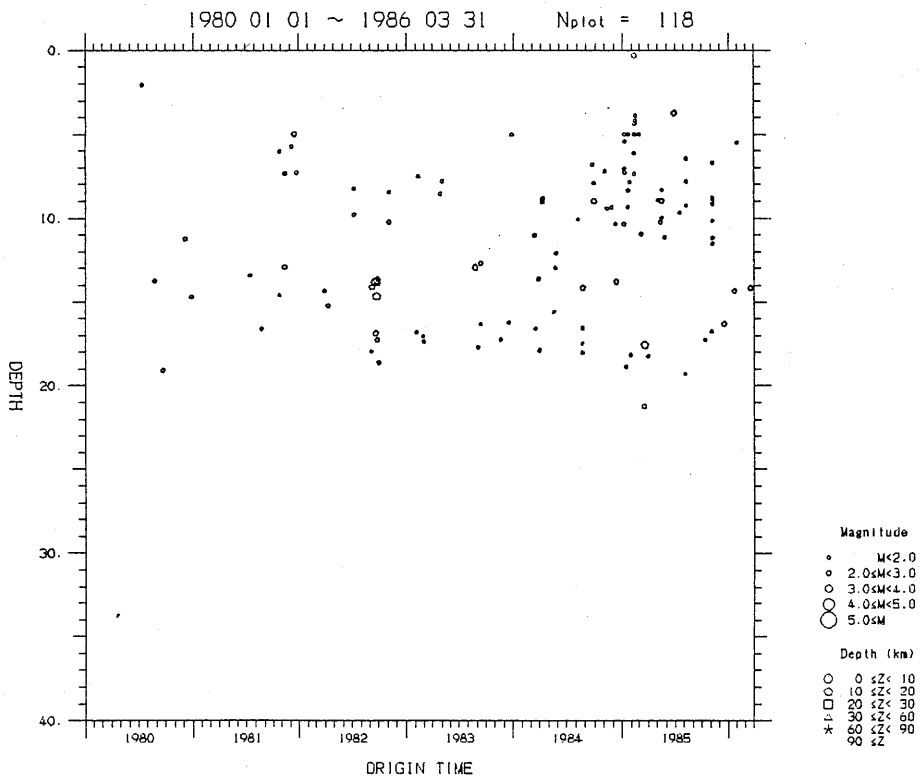
以上の資料から、以下のような地震活動の特徴が認められる。

- (1) 箱根付近の浅い地震は、ほぼ深さ20 km以浅に限られている。
- (2) 調査した期間には、④芦ノ湖東岸の神山付近、⑤強羅付近<sup>1)</sup>の2カ所に比較的集中した地震活動が見られた。震源の深さは④がおもに5~10 km、⑤が15 km前後で、相互にはっきりした差異がある。但し、極く浅い地震の絶対的深さ精度については、地下速度構造を含めて今後検討して行く必要がある。
- (3) このほか、1985年3月16日には、小田原の南西方に深さ18 km, M=3.9(気象庁)の地震が

発生した。<sup>2)</sup>

(4) 震源の深さには、明瞭な時間的変化は認められない。第3図で1982年秋から85年初頭にかけて震源が浅くなったように見えるのは、初期には⑥で、後期には②で地震が多発したためである。

(大竹政和)



第3図 第1図長方形領域内の地震の深さ対時間プロット

Fig.3 Focal depth versus time plot the earthquakes occurring in the rectangular area of Fig. 1.

## 参 考 文 献

- 1) 国立防災科学技術センター(1983) : 1982年9月箱根強羅付近の群発地震活動について, 噴火予知連会報, 26, 47-48.
- 2) 国立防災科学技術センター(1985) : 1985年3月16日小田原付近の地震, 地震予知連絡会会報, 34, 88-95.